

## 普及情報

## フレッシュな畜産の担い手が一堂に会しました！

畜産業の担い手として就農された5年目までの方（以下、セミナー生）を対象に農業セミナー（畜産コース）を実施しています。セミナー生の技術習得状況や要望に合わせて年度ごとに飼養管理・経営技術の巡回指導を行います。今年は、開校式を6月6日（月）に「かながわ農業アカデミー」で開催し、7名のセミナー生が参加しました。参加者の内訳は、畜種では酪農5名、採卵鶏2名で、就農年数では2年目が3名、3年目が2名、4年目以上が2名でした。

初めは緊張していたセミナー生も、普及指導員の自己紹介に引き続いて自己紹介をするころには、緊張感も緩み始めました。

最初に畜産に関する知識の習得のため、全ての畜種に共通の話題である「暑熱対策」について普及指導員が講義をしました。就農2年目のセミナー生は、初めて聞く内容も多く、真剣にメモを取っていました。

その後、県内の酪農及び肉牛の生産者の意気込みや安全でおいしい畜産物を生産するための取り組みを紹介した動画（畜産ブランド推進協議会幹事会ワーキンググループ（事務局：（一社）神奈川県畜産会）制作）を上映し、県内の生産者の取り組みについて学習しました。

講義に引き続き、「農業セミナー巡回 チェックシート（以下、チェックシート）」による自己評価を行いました。チェックシートは、技術や知識の習得状況を可視化し、自身の現状把握と目標設定に役立ちます。畜種ごとに①飼養管理、②経営技術、③衛生管理、④生活技術、⑤ネットワークの5項目について、それぞれ設問が4～10項目設定されており、目標に対して期首、中間、期末の達成状況を5段階で自己評価します。今回は、普及指導員の助言を受けながら、目標と期首（現状）をチェックしました。

最後に、作成したチェックシートを用いて、セミナー生同士の意見交換を行いました。就農5年目のセミナー生は、「飼養管理」に自信あり！と答えており、就農2年目のセミナー生からの質問に対し、的確なアドバイスを送っていました。就農2年目のセミナー生も3年後には、このように堂々と後輩を指導できるようになることを期待しています。そのために、技術的な部分だけではなく、仲間とのコミュニケーションやネットワークづくりを通じて、農業者としての意識の向上も促すよう我々もしっかりサポートしていかなければと気が引き締まる思いです。



暑熱対策に関する講義



普及指導員の助言を受けながらチェックシートを作成

新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた神奈川県養豚協会主催の神奈川県肉豚共進会が、5月に横浜市中心卸売市場食肉市場で3年ぶりに開催され、5月18日に生体の部、5月20日に枝肉の部の審査が行われました。当所からは、所長が審査長、普及指導課職員が審査員を務めました。

共進会には、去勢・雌を1組として88組、176頭が出品されました。各農場から選び抜かれた肉豚は、特に枝肉の部では甲乙つけがたい優秀な枝肉がそろっており、審査も難航するレベルの高い共進会となりました。

農林水産大臣賞を受賞した枝肉は、去勢・雌ともに極上の格付けとなり、出品者は開催初の快挙となる3連覇となりました。食肉市場での評価も高く、種豚・肉豚選抜の的確さ、飼養管理技術の高さ等、出品者の日頃の研さんの成果がうかがえました。

今回の共進会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、生体の部は生産者の参加はありませんでしたが、枝肉の部は、感染防止対策を行いながら生産者が参加し、上位入賞を果たした生産者を囲んで、上場された枝肉の状況や市場の買参人に好まれる枝肉について、活発な意見交換が行われました。

8月4日には、レンブラントホテル海老名において褒賞授与式が開催され、当所からは、所長による審査講評と普及指導課職員による審査状況を報告しました。

普及指導課では、出品された豚の体型や枝肉の形状の評価をふまえ、引き続き各農場の豚肉生産技術向上の支援に努めていきます。



枝肉の部の審査会場の様子



農林水産大臣賞の枝肉（去勢）

## 研究情報

## 令和3年度の研究成果の公表実績

令和3年度の当所が主体となって得られた研究成果のうち、学会誌等に掲載された論文は1報、学会での発表は2件でした。また、他機関が主体となった研究成果の内、学会誌等に掲載された論文は1報でした。

### ○ 論文掲載

掲載誌	発行年月	題名	著者
日本胚移植学雑誌 42巻2号 P31-36	2021年7月	ホルスタイン種経産牛における卵胞波調整と排卵促進を併用した過剰排卵処理による性選別精液を用いた胚採取	企画指導部 秋山 清 他

### ○ 学会発表

学会名	開催場所	演題名	発表者
2021年度室内環境学会 学術大会	京都リサーチ パーク	暑熱ストレス軽減を目的とした豚房環境の改善が授乳期母豚に及ぼす影響	企画研究課 白石葉子 他
日本家禽学会2022年度 春季大会	オンライン	県産トウモロコシ・ゴマ粕主体飼料の給与が かながわ鶏の生産性および肉質に及ぼす影響	企画研究課 平井久美子 他

発行 神奈川県畜産技術センター

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/g8f/index.html>

〒243-0417 海老名市本郷3750 電話(046)238-4056

ファクシミリ(046)238-8634

